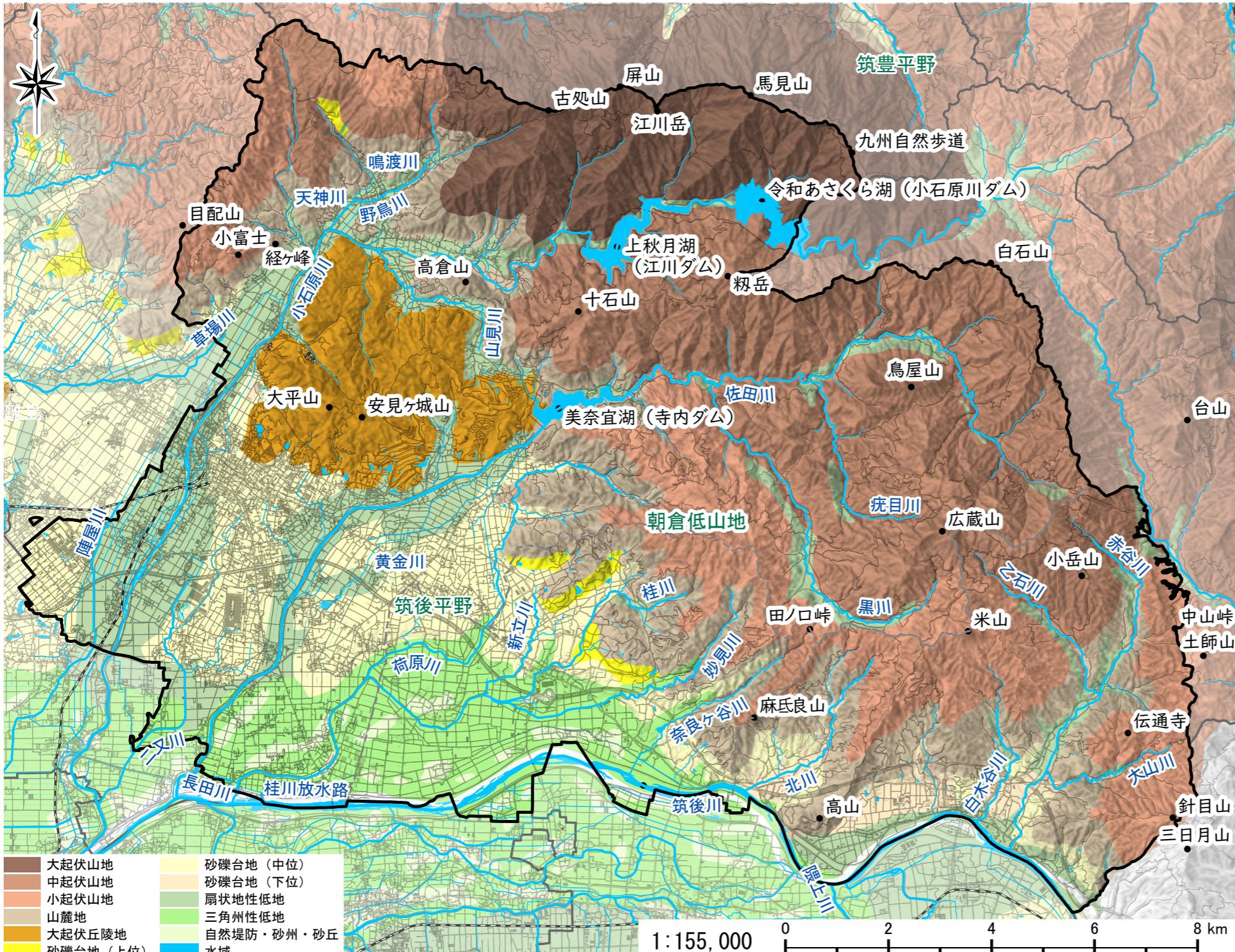


あそべくらの概要

朝倉市は福岡県のほぼ中央に位置し、県内市町村の中で北九州市、八女市、福岡市に次いで四番目に広い面積をもちます。面積の大部分は山林・農用地が占めており、農作物の栽培が盛んな地域です。北部には、古処山・屏山・江川岳・馬見山からなる古処連山や鳥屋山などがあります。古処山の山頂部には結晶質石灰岩の露頭があり、これが白く見えることや、山頂に白山権現があることなどから白山とも呼ばれています。市内を流れる代表的な河川としては、小石原川・佐田川・桂川・赤谷川などがあります。南部には、千歳川・筑紫次郎とも呼ばれる筑後川があります。豊かな水源があることから、市内には三つのダムがあり、これらのダムは福岡都市圏の生活にも活用されています。古くから豊かな自然と良質な水に恵まれて発展してきた朝倉市では、「水もしたたるいいところ」をテーマに市の魅力を発信しています。

本市は平成一八年三月に甘木市・朝倉町・杷木町の三市町が合併し、誕生しました。市の花には、ヒマワリ・コスモス・サクラが、市の木には、クス・イチョウ・ツゲが選定されています。市内には一小学校、六中学校、三高等学校があり、一七地区で地域コミュニティが組織され、地域に根ざした活動を行っています。



朝倉市制施行 20 周年
ロゴマーク
朝倉市は平成 18 年に誕生しました。令和 8 年に市制施行 20 周年の節目を迎えます。



朝倉市章
朝倉市の頭文字 A と S を図案化したものです。グリーンは山野を、ブルーは川を表現しています。2 つのカーブは市民の融和と協調を、三角は発展を意味しています。

歴代市長
(氏名) (在任期間)
塙本 勝人 平成 18 年～平成 22 年
森田 俊介 平成 22 年～平成 30 年
林 裕二 平成 30 年～

